

CSR報告書 2011

Earth Support Corporation CSR Report 2011

ひろがる、つながる。ECOの輪



Earth Support Corporation.

アースサポート株式会社

会社概要

Company profile

名称 アースサポート株式会社

設立 昭和38年2月4日

所在地 島根県松江市八幡町882番地2

資本金 5,000万円

代表者 代表取締役 尾崎俊也



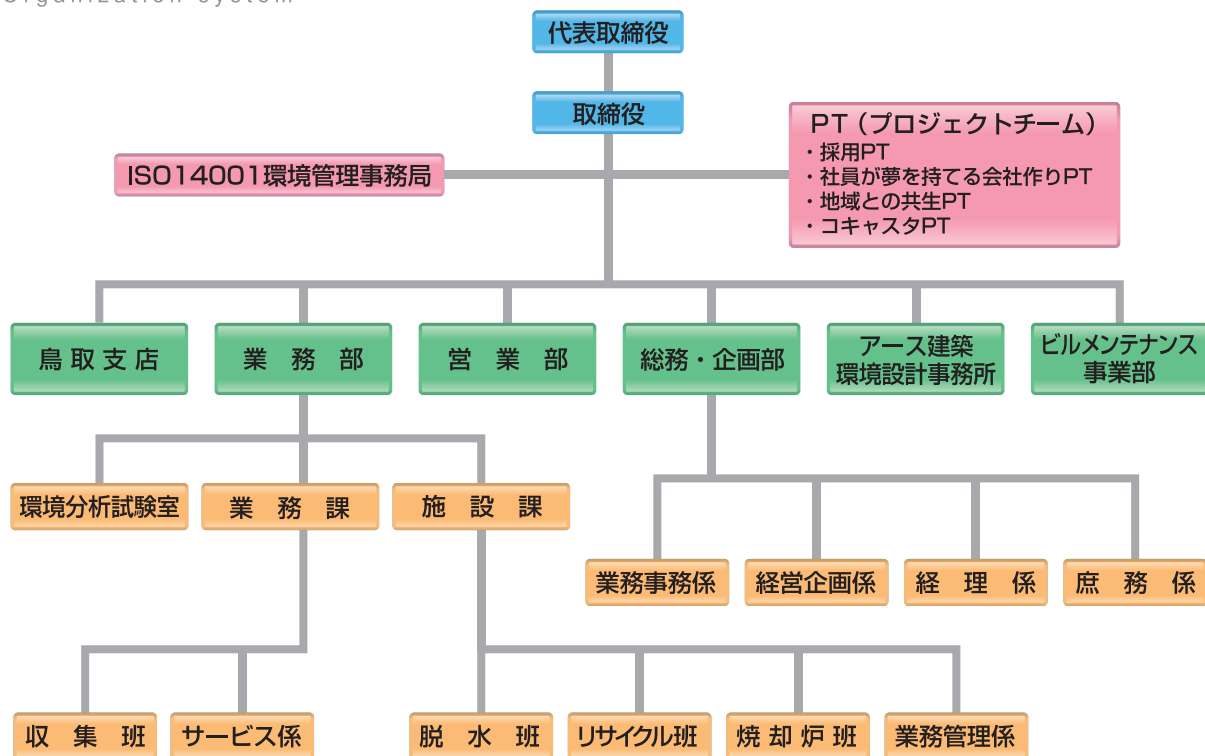
CSR 報告書 2011

Earth Support Corporation CSR Report 2011

会社概要	1	ハイライト	6
組織体制	2	環境とのかかわり	9
アースサポートのあゆみ	3	地域とのかかわり	15
トップメッセージ	5	社会とのかかわり	18
		お客様とのかかわり	21

組織体制

Organization system



目次

CONTENTS

社員とのつながり 23

B to C への取り組み 26

アースファームだより ... 27

アンケート 28

編集後記 30

アースサポートのあゆみ

History

アースサポート株式会社は、ビル管理・清掃を事業としていた山陰ビル管理株式会社と廃棄物処理を事業としていたアース環境株式会社が合併し、生活空間そのものの環境保全、という新たなカテゴリーへと進出しました。わたしたちは、すべてのお客様に安心と快適な環境を提供するために、環境に関するあらゆる問題を解決する「トータルソリューション」を提案するリーディングカンパニーとして挑戦し続けます。



焼却炉



選別プラント



廃食油リサイクル事業

山陰ビル管理(株)設立 (鳥取県米子市)

11月 (有)山陰清掃社設立 (島根県松江市)

7月 東亜グループの一員となる

4月 (有)山陰清掃社から「アース環境(株)」に社名変更

9月 産業廃棄物焼却・サーマルリサイクルプラント竣工

7月 産業廃棄物選別・リサイクルプラント竣工

8月 竹矢地区自治協会8団体様と「環境に関する協定」を締結

3月 島根県内の産業廃棄物処理業界で初めてISO14001を認証取得

10月 松江市竹矢地区自治会協会様と共同で廃食油リサイクル事業スタート

10月 アース環境(株)が合併し、アースサポート(株)へ社名変更

10月 アースサポート(株)鳥取支店開設

9月 アース建築・環境設計事務所設立・事業スタート

1963

1975

1984

1994

1999

2000

2001

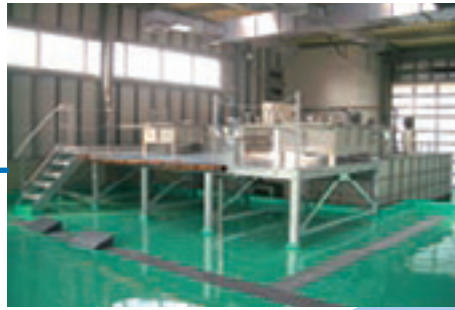
2002

2003

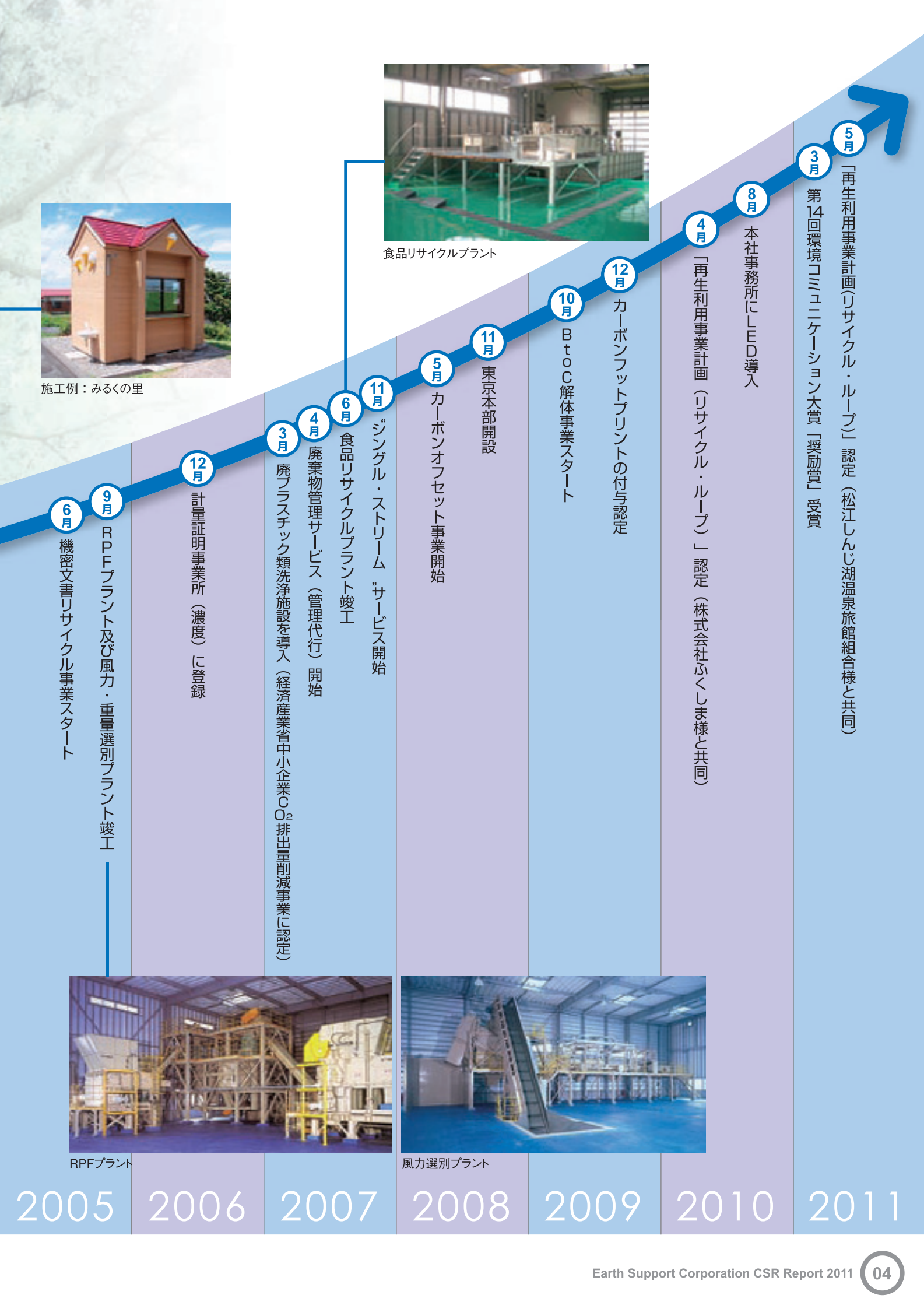
2004



施工例：みるくの里



食品リサイクルプラント



6月

機密文書リサイクル事業スタート

9月

RPFプラント及び風力・重量選別プラント竣工

12月

計量証明事業所（濃度）に登録

3月

廃プラスチック類洗浄施設を導入（経済産業省中小企業CO₂排出量削減事業に認定）

4月

廃棄物管理サービス（管理代行）開始

6月

食品リサイクルプラント竣工

11月

「ジングル・ストリーム」サービス開始

5月

カーボンオフセット事業開始

11月

東京本部開設

10月

B to C 解体事業スタート

12月

カーボンフットプリントの付与認定

4月

「再生利用事業計画（リサイクル・ループ）」認定（株式会社ふくしま様と共同）

8月

本社事務所にLED導入

3月

第14回環境コミュニケーション大賞「奨励賞」受賞

5月

「再生利用事業計画（リサイクル・ループ）」認定（松江しんじ湖温泉旅館組合様と共同）



RPFプラント



風力選別プラント

2005

2006

2007

2008

2009

2010

2011

トップメッセージ

Top Message

すべてはお客様に
安心して快適な環境を
提供するために



平素は弊社業務につきまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、弊社の社会・環境・雇用等について様々な取り組みをまとめた『CSR 報告書 2011』を発刊させていただくに当り、関係各位にたいへんご協力を賜り心より御礼申し上げます。

3月11日に未曾有の国難ともいえる東日本大震災が発生し、日本全体が大きな悲しみと不安に包まれています。震災でお亡くなりになられた方々に衷心よりご冥福をお祈りすると共に、被害にあわれた方々にお見舞い申し上げます。

弊社は昭和38年に設立した旧山陰ビル管理株式会社と、昭和50年に設立した旧有限会社山陰清掃社が、平成15年に合併して誕生した会社です。合併により、ビル総合管理のノウハウと廃棄物処理・リサイクルの技術を融合させ、“都市空間のトータルサポート”というコンセプトのもと更なる地球環境保全の推進のために尽力いたしております。平成16年には自社内に「アース建築・環境設計事務所」を設立し、ビルメンテナンスや廃棄物の適正処理だけでなく、設計段階から環境へ配慮した建物を建設するという一歩を踏み出しました。また平成19年には環境計量事業所登録を行い、社内外の廃棄物を計量する「環境センター」を立ち上げました。そして、平成19年にスタートした食品リサイクル事業では、平成22年に中国地方で初めてリサイクルループ認定を受ける等、お客さまと力を合わせて共同でリサイクル事業を構築するという活動を始めました。

この度の震災では、電力供給不足というたいへん大きな問題が発生し、東京電力管内を中心に全国で省エネの機運が高まっています。弊社でも本社事務所の照明をすべてLEDに交換し、本年7月には約5kWの太陽光発電設備も導入いたしました。今後も省エネやグリーンエネルギー導入を積極的に推進して参るとともに、弊社自身の経験を踏まえたノウハウを使ってお客さまに省エネについての様々な提案をおこなっていきたくと考えています。

また、地域活動においては、平成12年に周辺地域の自治会様をはじめとする8団体様と『環境に関する協定』を締結させていただき、それ以来19回の地元自治会長様見学会を実施しています。十年を超える長きにわたり、各自治会様、松江保健所様はじめ関係各位の皆様方にたいへんお世話になりましたことを改めて御礼申し上げます。

廃棄物処理業界を取り巻く環境は、ここ数年で大きく様変わりしています。たとえば本年に施行された改正廃棄物処理法では、排出事業者が委託した廃棄物の中間処理状況を確認することが努力義務として明文化されました。弊社でも工場内に安全通路を整備する等、今後増加すると思われる見学者の皆様方に少しでも安全にご見学いただけるように努力して参ります。また、社会的に環境に対する関心が高まる中、廃棄物を取り扱う企業としてリサイクルの向上、地域への様々な貢献、説明責任の徹底、労働安全、CSR活動の推進等は必須の経営課題となっています。日々変化するこれらの外部環境を受け、私たちの業界はその状況をしっかり認識し、変化に対し果敢に挑んでいかなければならないと考えています。

弊社では、「すべてはお客さまに安心して快適な環境を提供するために」という経営理念のもと、様々な管理の徹底や情報公開、リサイクル率の向上等を進めて参りました。このような取り組みを1冊にまとめたものが『CSR 報告書 2011』です。私たちは、私たちの仕事そのものが環境に大きな影響を与え得ることを自覚し、そして私たちの積極的な活動が社会に対し少しでもプラスの影響を与え得るということも十分に理解し、お客さま、社員、そして地域の方々に喜んでいただける会社作りをしていかなければならないと考えています。その思いを、お客さまや社員、地域の皆さまと交わした『約束』と考え、これからも誠心誠意努めて参ります。

今後とも皆さまのご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 尾崎 俊也

ハイライト

2010 - 2011



Highlight

第14回環境コミュニケーション大賞「奨励賞」受賞

環境省ならびに財団法人地球・人間環境フォーラム主催の「第14回環境コミュニケーション大賞」において、当社の『環境報告書2010』が環境報告書部門「奨励賞」を受賞しました。「環境コミュニケーション大賞」は、優れた環境報告書や環境活動レポート、環境コマーシャルを表彰することにより、事業者等の環境コミュニケーションへの取り組みを促進するとともに、その質の向上を図ることを目的とする表彰制度です。今回の第14回環境コミュニケーション大賞は、「戦略的環境経営と情報開示」をメインテーマとして実施されました。環境報告書部門では、メインテーマに沿った優れた環境報告に対する表彰はもちろんのこと、前回に引き続き「持続可能性」「地球温暖化」「環境金融」「生物多様性」「信頼性」など環境の様々な側面に焦点を当て、それらの優秀な取り組みや情報開示を進めている事業者・報告書がそれぞれ

評価・表彰されます。この度当社は、環境報告書部門の応募総数281点の中で、大賞3点、優秀賞10点に続く奨励賞4点の中に選ばれました。全国の大企業と並んで当社の環境報告書が評価されたことを大変嬉しく思います。今後も更に努力してまいります。



アースサポート株式会社「環境報告書2010」受賞作品講評



地域（島根県）の中小企業で一般廃棄物・産業廃棄物の収集運搬処理、総合リサイクル事業、総合ビルメンテナンス、トータルサポート業を営んでいる。アースファームという農場も経営し、食品リサイクル法の再生利用事業者及びリサイクルループの認定を受け、静脈産業と動脈産業を自らもつないでいる。カーボンフットプリント試行事業にも参加し「食品廃棄物を原料とした有機質の液体肥料」という商品に対しPCRの認定とマークの付与認定を受けている。こうした取り組みもすぐれているが気候変動対策に熱心に取り組んでいることも報告書から伝わってくる。アンケート回答者の中から抽選でアースファームの農場で収穫した「季節のお野菜」がプレゼントされる。

省エネへの取り組み

年々進行している地球温暖化は世界規模で問題となっており、原因と言われている二酸化炭素(CO₂)の削減について、省エネ法の改正など、国を挙げて様々な対策が講じられています。全国的に省エネに関する取り組みが開始される一方で、自然の多い山陰地方ではあまり温暖化対策への活動が活発ではなく、その手法についても広く普及していないのが現状です。そこで、当社は自ら率先して省エネやCO₂削減に積極的に取り組むことで、同じように省エネやCO₂削減にお悩みの方々に、具体的な情報やノウハウを提供させていただけるのではと考え、新たに3つの取り組みを行いました。

1 LED導入

平成22年8月に、本社事務所全ての照明機器をLEDに取り替えました。LEDの電力消費量は蛍光灯に比べて40%~75%少なく、CO₂排出量は蛍光灯の60%、寿命は蛍光灯に比べて3倍の約4万時間とされています。



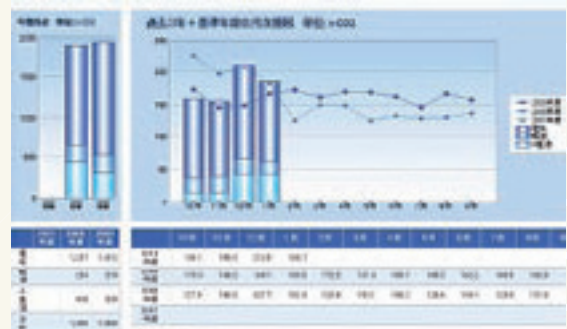
2 電気自動車導入



平成23年2月に、地球温暖化防止に対する社会的な関心の高まりや電気自動車の普及等の背景もあり、当社自身も“地球温暖化防止”に貢献するために電気自動車“日産リーフ”を導入しました。電気自動車の充電設備は本社入口左側に設置していますので、当社にお越しになるお客様や協力業者様で電気自動車に乗ってこられる方々には、無料で充電していただけるようにしています。日産リーフは1回の充電で150~170km走行することができ、当社では主に営業車として利用しています。ご興味のある方は事前にお問合せいただければ、運転していただくこともできますので、ぜひお気軽にお尋ねください。

3 エネルギー総合管理サービスEIA2導入

平成22年4月に省エネルギー法が改正され、企業のエネルギー管理に対するニーズが高まり、CO₂削減のための活動も求められています。そのような中で、様々なエネルギーの使用状況を把握・分析し、自社で使用するエネルギーの管理を徹底するために、エネルギーの見える化ソフト「EIA2」を導入いたしました。全社・グループ・拠点での全てのCO₂排出量、エネルギー使用量が把握でき、また総使用量・原単位・増加率など、各種のランキング表示もできるため、多店舗展開をしているお客様でも優先的に省エネに取り組むべき拠点や店舗を抽出することができます。



FOOD ACTION NIPPONアワード2010「入賞」



「FOOD ACTION NIPPONアワード」とは、食料自給率向上に向けた国民運動「FOOD ACTION NIPPON」の展開の一環として昨年創設されました。当社はアースファームとの連名で、「食品残さの善循環型リサイクル構築及び環境教育活動による食料自給率向上運動」という内容でエントリーしました。全国から約2,500もの応募があった中、弊社は「製造・流通・システム部門」において入賞することができました。FOOD ACTION NIPPON自体が、流通・食品などの企業、旅館・ホテルなどの事業者、大学や地元経済界、自治体など国民全体の運動です。弊社の取り組みが、その活動に貢献できていることを嬉しく思います。



CO₂マイナスプロジェクトにて「協議会会長賞」受賞

CO₂マイナスプロジェクトは、社団法人全国産業廃棄物連合会が主体となり、産業廃棄物業界全体としてCO₂削減を目指し社会貢献を行っていくプロジェクトです。CO₂削減量を競うのではなく、CO₂削減のための優良事業が評価されます。

当社は、リサイクルループ認定を始めとする食品リサイクルの取組みについてエントリーしました。690社から814ものエントリーがあり、その結果、当社は、排出事業者をはじめとする関係者との共同プロジェクトによりCO₂削減に繋がるような取組みを表彰する「共同削減部門」において、協議会会長賞を受賞しました。平成22年11月23日に横浜市で行われた全国産業廃棄物連合会青年部全国大会の場において表彰式が行われました。当社の取組みが全国の舞台上で認められたことを非常に嬉しく思います。今後も、廃棄物処理業者だからこそできる環境にやさしい取組みを行っていきたくと考えています。



環境とのかかわり

Environment

環境データ

焼却炉排ガスデータ

測定項目	測定値		法規制値	単位
	H22.9.28	H23.3.26		
ダイオキシン類	0.25	0.092	1	ng-TEQ/Nm ³
塩化水素	7.9	3.2	430 (700)	ppm (mg/Nm ³)
ばいじん	0.011	0.012	0.08	g/Nm ³
硫黄酸化物	0.024	0.18	24.82 25.9	Nm ³ /h
窒素酸化物	56	86	250	cm ³ /Nm ³

焼却炉燃え殻データ

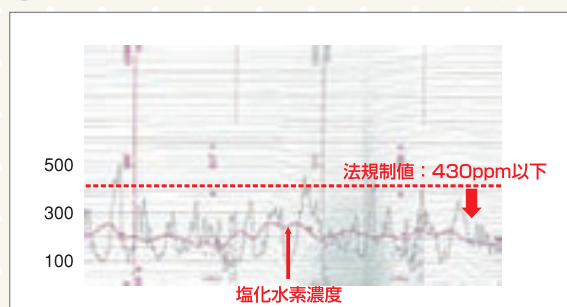
測定項目	測定値		法規制値	単位
	H22.4.6	H22.9.28		
ダイオキシン類	0.31	0.41	3	ng-TEQ/g

測定項目	測定値	法規制値	単位
	H22.9.28		
アルキル水銀化合物	検出せず	検出されないこと	mg/㍑
水銀又はその化合物	N.D.	0.0005	mg/㍑
カドミウム又はその化合物	N.D.	0.005	mg/㍑
鉛又はその化合物	N.D.	0.01	mg/㍑
六価クロム化合物	N.D.	0.01	mg/㍑
砒素又はその化合物	N.D.	0.02	mg/㍑
P C B	N.D.	0.0005	mg/㍑
セレン又はその化合物	N.D.	0.02	mg/㍑

焼却炉温度チャート



焼却炉塩化水素濃度チャート



排水データ

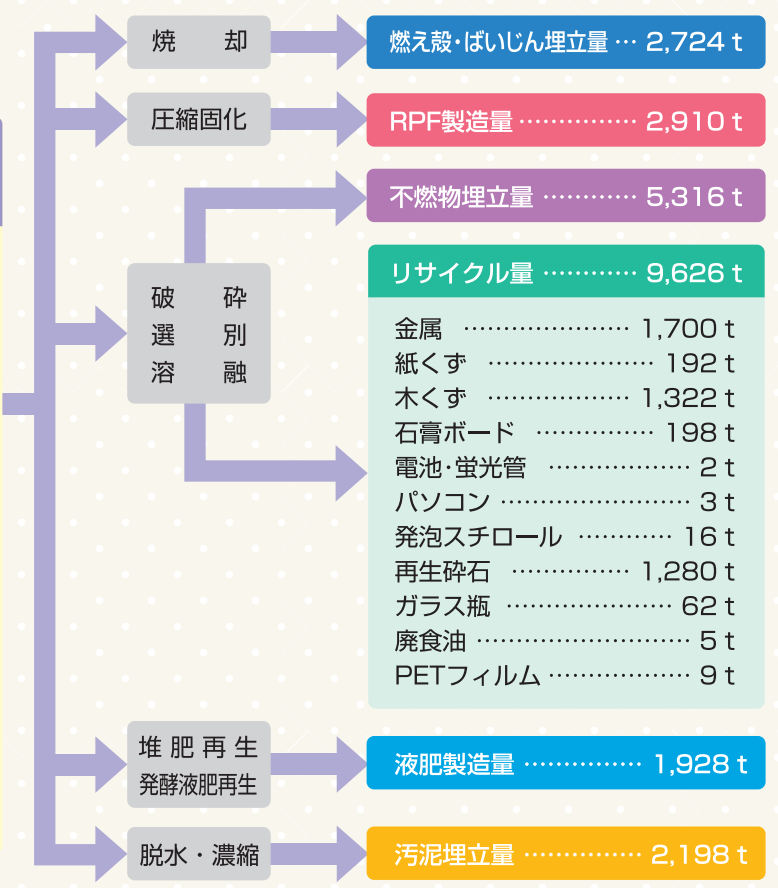
測定項目	測定値		法規制値	単位
	H22.11.17	H23.3.30		
ダイオキシン類	0.0012	0.00025	10	pg-TEQ/㉿

測定項目	測定値	法規制値	単位
	H23.1.25		
カドミウム化合物	N.D.	0.1	mg/㉿
シアン化合物	N.D.	1	mg/㉿
有機燐化合物	N.D.	1	mg/㉿
鉛及びその化合物	N.D.	0.1	mg/㉿
六価クロム化合物	N.D.	0.5	mg/㉿
砒素及びその化合物	N.D.	0.1	mg/㉿
水銀及びその化合物	N.D.	0.005	mg/㉿
アルキル水銀化合物	検出せず	検出されないこと	mg/㉿
P C B	N.D.	0.03	mg/㉿
トリクロロエチレン	N.D.	0.3	mg/㉿
テトラクロロエチレン	N.D.	0.1	mg/㉿
ジクロロメタン	N.D.	0.2	mg/㉿
四塩化炭素	N.D.	0.02	mg/㉿
1, 2-ジクロロエタン	N.D.	0.04	mg/㉿
1, 1-ジクロロエチレン	N.D.	0.2	mg/㉿
シス-1, 2-ジクロロエチレン	N.D.	0.4	mg/㉿
1, 1, 1-トリクロロエタン	N.D.	3	mg/㉿
1, 1, 2-トリクロロエタン	N.D.	0.06	mg/㉿
1, 3-ジクロロプロペン	N.D.	0.02	mg/㉿
チウラム	N.D.	0.06	mg/㉿
シマジン	N.D.	0.03	mg/㉿
チオベンカルブ	N.D.	0.2	mg/㉿
ベンゼン	N.D.	0.1	mg/㉿
セレン及びその化合物	N.D.	0.1	mg/㉿
硝酸性窒素・亜硝酸性窒素 及びアンモニア性窒素含有量	0.6	100	mg/㉿
ふっ素及びその化合物	N.D.	8	mg/㉿
ほう素化合物	N.D.	15	mg/㉿

廃棄物量

廃棄物搬入量 127,480m ³ (26,057 t)	
汚泥	2,909 m ³
廃油	97 m ³
廃酸	207 m ³
廃アルカリ	136 m ³
廃プラスチック類	66,736 m ³
紙くず	4,612 m ³
木くず	11,409 m ³
繊維くず	15 m ³
動植物性残さ	675 m ³
金属くず	15,341 m ³
ガラスくず等	8,310 m ³
がれき類	2,845 m ³
引火性廃油	30 m ³
強酸	11 m ³
強アルカリ	6 m ³
感染性廃棄物	3,952 m ³
一般廃棄物	10,186 m ³

H22.4.1～H23.3.31までの実績



ISO14001への取り組み

【基本理念】

アースサポート株式会社は、廃棄物の適正処理・リサイクル・清掃活動を通じて地球環境保全に貢献するとともに、都市空間のトータルサポートを目指し、お客様に安心で快適な環境を提供する。

【環境方針】

- ① 環境目的・目標を明確にし、その見直しを定期的に行うことにより、継続的な環境管理活動を行います。
- ② 地球環境保全のため、廃棄物の適正な収集・運搬・処理を行うとともに新技術・新設備を導入し、省資源、省エネルギー、廃棄物の再資源化及び減容化に努めます。
- ③ 環境関連法規制及びその他の要求事項を遵守するとともに、汚染の予防に努め、かつ、環境保全の継続的改善に努めます。
- ④ 環境教育・社内広報活動などを通じて、全従業員の環境保全に対する意識の向上を図ります。
- ⑤ 地域との共生を目指し、地域に喜ばれ、必要とされる会社づくりを行います。
- ⑥ 環境方針は要求があれば、一般にも開示します。

平成 17 年 11 月 1 日

代表取締役社長 尾崎 俊也

◎ 環境目標と結果

目的	平成21年度（平成21年10月～平成22年9月）		達成率
A重油使用量削減	目標	A重油使用量/稼働時間=31.25%以下	◎
	結果	26.53%/h	
リサイクル率向上	目標	リサイクル率60%（汚泥を除く）	△
	結果	57.5%	
定期収集時間短縮	目標	定期収集時間1件あたり7.05分以下	◎
	結果	6.55分/件	
紙文書のペーパーレス化	目標	10文書	◎
	結果	16文書	
環境教育	目標	16回/年	◎
	結果	23回/年	

×：達成率が80%未満 △：達成率が80%以上100%未満 ○：達成率が100% ◎：達成率が100%を超えたもの

◎ 外部審査結果

平成13年3月にISO14001を認証取得し、10年目となります。年2回の内部監査を行うことで、マネジメントシステムの精度を向上させてきました。その結果、審査機関である（財）日本品質保証機構（JQA）による定期・更新審査においても、取得以降改善指摘事項（不適合）はなく、ストロングポイントをいただけてきました。今年2月に行われた定期審査では、平成22年7月からJQAで新たに導入された「グッドポイント」を2ついただきました。



- 1 収集運搬車両の燃料について従来からカーボンオフセットを導入していたが、平成22年4月からは本社サイト全体のエネルギー量に拡大され、植林活動及び海外の排出権購入により499トンのオフセットが実施されていた。このことは、組織として地域に限定せず地球規模での環境改善意識の高さが伺える点。
- 2 地域の小学生を対象とした環境教育を継続的に実施している。昨年度は、ごみの収集からリサイクル・処分の流れ、また食育として調理くずのリサイクル品（液体肥料）で育てた野菜の収穫体験について7校の小学校で実施されており、地域における環境意識の向上に役立つ有効な活動が実施されている点。

実施月	審査の種類	改善指摘事項A	改善指摘事項B	改善の機会	ストロングポイント	グッドポイント
H18年3月	定期・移行審査	なし	なし	5件	なし	—
H19年3月	更新審査	なし	なし	8件	1件	—
H20年1月	定期審査	なし	なし	5件	1件	—
H21年2月	定期審査	なし	なし	8件	3件	—
H22年1月	更新審査	なし	なし	3件	なし	—
H23年2月	定期審査	なし	なし	3件	なし	2件

しまね地球温暖化防止活動大賞「優秀賞」受賞



しまね地球温暖化防止活動大賞とは、島根の豊かな環境を守り育てるとともに、脱地球温暖化社会の実現を

事業部門で「優秀賞」を受賞しました。平成22年12月11日にくにびきメッセで行われた第6回島根県地球温暖化対策推進大会の中で表彰式が行われ、表彰状をいただきました。このように表彰していただくことが出来たのも、リサイクルにご協力いただいている事業所の皆様、行政の方々、そして地域の皆様のおかげです。今後もますますリサイクルを推進してCO₂削減に貢献したいと思います。

目指すことを目的に創設された表彰制度です。地球温暖化の防止に関し、先進的又は他の模範となる活動実績のあった家庭、事業者、学校等に対し、その実績を表彰する取組みで、本年度で4回目となります。

当社では、「しまねストップ温暖化宣言」を行い、さまざまな活動によってCO₂削減を目指しています。その活動の中から、食品リサイクル（リサイクルループ）の取組み、カーボンフットプリント（CFP）への取組み、LED導入などによるCO₂の削減について応募したところ、昨年に引き続き2年連続、

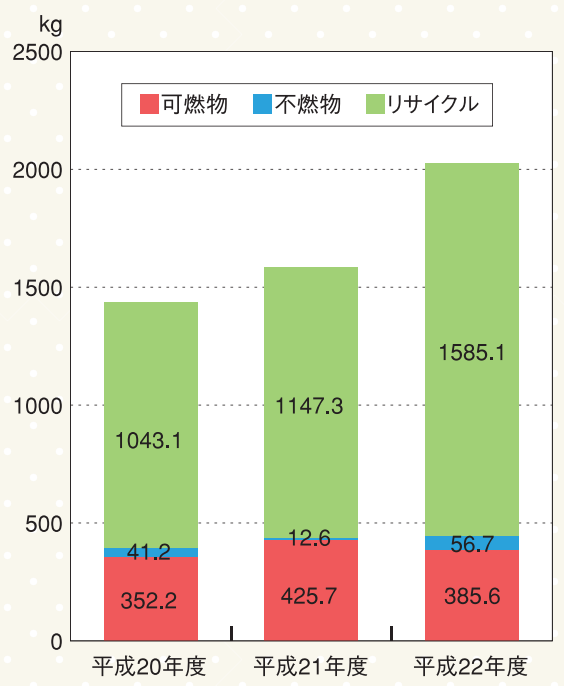


事務所ゴミの分別とリサイクル

当社では、事務所や現場休憩室から出る事務所ゴミの分別を徹底し、リサイクル推進を行っています。

分別品目	
リサイクル	
古紙、新聞・雑誌、機密書類、ダンボール、RPF用紙・木くず、RPF用プラスチック類、生ゴミ、ガラス瓶、空き缶	
可燃物	不燃物

分別品目は非常に多いですが、近年ではリサイクル率70%以上をキープしており、平成22年度はリサイクル率78%となりました。今後もリサイクル率の向上を目指すとともに、出来るだけゴミを出さないよう努力していきます。



カーボンオフセット

カーボンオフセットとは、日常生活や経済活動によって排出される二酸化炭素（CO₂）を、何らかの形で埋め合わせ（相殺＝オフセット）することです。

当社では、CO₂削減活動はもちろんのこと、平成20年5月から、既に排出したCO₂を植林事業と排出権の購入によりオフセットする活動を行っており、封筒やパンフレット類の製作や、廃棄物収集運搬車両の使用に伴うCO₂などをオフセットしてきました。平成21年度からは、国の政策であるチャレンジ25%（温室効果ガス25%削減計画）にあわせ、本社の工場、廃棄物の収集運搬車両、営業車両など会社全体から排出されたCO₂の25%をオフセットしています。今年度は、会社全体から排出されたCO₂の25%（435トン）のオフセットを、国内クレジットで行いました。この国内クレジットの約半分は、地元山陰での排

出権を購入し、全国的にもあまり前例のない地産地消型のオフセットを行っております。今後も、地球・地域の環境に貢献できる活動を行っていきたいと思います。



環境セミナーの開催

地球温暖化が世界規模で問題となっている背景を踏まえ、地球温暖化対策について知っていただく機会として、セミナーを開催しました。

第1部では、地球温暖化対策に関して造詣の深いカーボンフリーコンサルティング株式会社様を講師にお招きし、「CO₂排出権取引と地球温暖化対策の最新情報」についてご講演いただきました。第2部では、環境アドバイザー・環境省環境カウンセラー・まつえ環境市民会議副代表である石原孝子氏をお招きし、「身近でできる省エネ」についてご説明いただき、第3部では、弊社社長 尾崎からも「カーボンフットプリントの導入と省エネへの取組み」についてご説明させていただきました。地球温暖化の現状を知った後、私たちひとりひとりが取り組めるようなCO₂削減・省エネの方法を、クイズを交えてとても分かりやすくお話いただき

ました。また、カーボンオフセットやカーボンフットプリントの説明もあり、企業レベルでも個人レベルでも役立つ情報をお客様に提供できたのではないかと思います。



地域 とのかかわり



● 地元小学校における環境教育

地域との共生プロジェクトチームが行っている環境教育は、毎年恒例となって依頼をいただく小学校が増えてきました。本年度は新たに意東小学校様と持田小学校様からも依頼をいただき、これまでで最多の7校で「ごみの分別方法とごみの行方」、「パッカー車のしくみ」というテーマで環境教育を実施しました。この授業では、家庭から出るごみと指定袋を持参し、ゲーム方式で分別方法を説明します。その後、分別されたごみが最終的に

どこに運ばれ、どのようにリサイクルされるかなどを写真やイラストで説明します。また、実際にごみ収集をするパッカー車を学校に持って行き、ごみの投入体験や緊急ボタンの実演を行います。

また、竹矢小学校様では「食育」として、当社の食品リサイクル施設で液体肥料が作られる様子を実際に見学し、その後アースファームの農場で液体肥料を使用して栽培したトマトの収穫体験を行いました。

● 「ごみの分別方法とごみの行方」、「パッカー車のしくみ」

- 平成22年4月22日 揖屋小学校様
- 平成22年4月27日 雑賀小学校様
- 平成22年5月12日 母衣小学校様
- 平成22年5月18日 竹矢小学校様
- 平成22年5月20日 意東小学校様
- 平成22年5月25日 持田小学校様
- 平成22年7月13日 出雲郷小学校様



揖屋小学校様



母衣小学校様



竹矢小学校様



意東小学校様



持田小学校様



出雲郷小学校様

● 「食育（食品リサイクル施設見学とトマト収穫体験）」

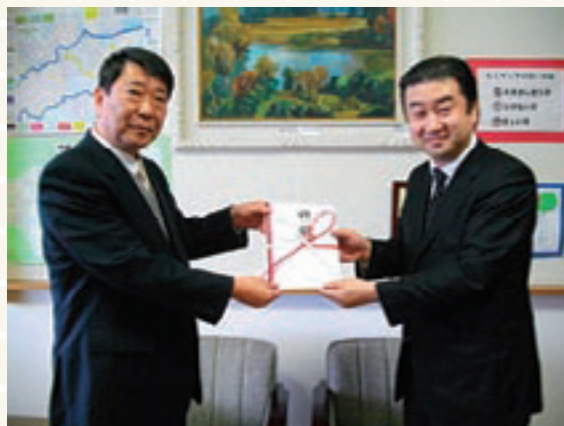
- 平成22年7月14日 竹矢小学校様



● 竹矢小学校へ「みどりの図書」寄贈

平成16年から、地元の竹矢小学校様へ「みどりの図書」と名付け、環境に関する図書を寄贈しています。今年も「地域との共生プロジェクトチーム」が中心となり、平成23年3月1日に環境図書の寄贈を行いました。

今回は校長先生と一緒に図書室にも行かせていただき、図書館司書の方から「環境に関する本がかなり充実しありがたい」と言っていただきました。また、環境は時代と共に新たな情報がどんどん出てくるとのお話を聞きましたので、これからも毎年新しい本を提供し、子ども達が最新の情報に触れられるようにしていきたいと思えます。



● 本年度寄贈図書一覧

書名	出版社
1 いますぐ考えよう！ 地球温暖化 全3巻	岩崎書店
2 みんなで考えよう 地球温暖化とエネルギーの未来 全4巻	小峰書店
3 エコでござる 江戸に学ぶ 全3巻	鈴木出版
4 考えよう！ 地球環境身近なことからエコ活動 全5巻	金の星社
5 もっとよく知ろう！ 地球温暖化ってなに？ 全4巻	新日本出版社
6 写真が語る地球激変 過去の地球、現在の地球、そして未来の地球は…？	ゆまに書房
7 みんなでめざそう循環型社会 全8巻	学研
8 地球環境白書 今「地球環境」が危ない 1巻～5巻	学研
9 教科学習におけるエネルギー環境教育の授業づくり 小学校編	国土社

● 廃食用油リサイクル

平成14年10月より、地元自治会様の各家庭から排出される廃食用油を回収し、軽油代替燃料であるバイオディーゼル燃料（BDF）にリサイクルを行っています。現在までに2,093リットルの廃食用油をリサイクルし、当社の工場内の重機や場内車の燃料として利用しています。



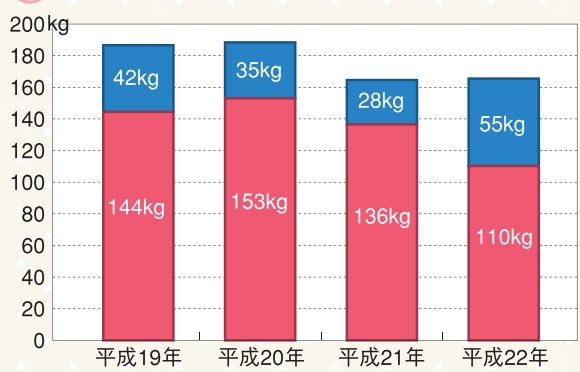
● 地域美化活動



当社が立地する付近には、ラムサール条約に登録された穴道湖と中海が存在します。平成12年から、月2回中海周辺のごみ拾いを行い、環境汚染と景観悪化の防止に努めてまいりました。現在も始業前の30分、事務所の職員を中心とし15名程度で活動を行っています。中海周辺では、釣り人やトラック運転手のポイ捨てが後を絶たず、昨年も年間で165kgものごみを回収しました。参加者以外

の方にも環境意識を高めてもらえるよう、今後も地域に根ざした環境保全活動を行ってまいります。

● 美化活動結果



● 第18回地元自治会様見学会

「環境に関する協定」を締結させていただいている地元自治会8団体様との連絡協議会を、平成22年7月18日に行いました。第18回となる今回も、多くの自治会長様、立会人として松江保健所環境保全グループ様にご参加いただき、第17回以降の様々な取組みを説明し、その後工場の中の見学をしていただきました。当日の説明資料は、地元自治会の各戸様へ配布させていただき、

環境や地域への取組みについて知っていただく機会となっています。ひとつひとつの活動にご協力いただき一緒に行っていくことで、少しずつ実績を積み上げることができ、今日に至っているのではないかと思います。



● 松江環境フェスティバル2010にブースを出展



平成22年10月9日にくにびきメッセで開催された「松江環境フェスティバル2010」にブースを出展しました。松江環境フェスティバルは、市民が環境を見つめ直す機会を提供することを目的に、松江市が中心となって毎年行われています。当社は今回が5回目の参加となりましたが、当日は約50のブース

出展があり、来場者も多くとても賑わっていました。今回は、当社で食品残さをリサイクルして作った液体肥料と、その液体肥料のみを使い、農薬・化学肥料不使用で作ったアースファームの野菜とお米を販売しました。お客様も環境に興味をお持ちの方が多く、当社の活動にも興味を示される方がたくさんいらっしゃいました。また、液体肥料の売れ行きが好調で、午前中でほぼ完売するほどでした。多くの方にアースサポートの液体肥料、アースファームの野菜を知っていただく機会となりました。

社会 とのかかわり

Society



● 不法投棄パトロール・不法投棄物撤去作業

平成22年10月14日に、島根県と島根県産業廃棄物不法処理防止連絡協議会が連携して、「陸・海・空」からの合同パトロールを行いました。このパトロールは、廃棄物適正処理対策推進事業の一環として、例年この時期に行っているもので、不法投棄された廃棄物の早期発見とこれに基づく原状回復措置、不法投棄防止の啓発等を主な目的としています。当社も八雲町周辺の陸上パトロールに参加しました。またその後、平成22年11月11日には、合同パトロールの際に発見された不法投棄物を中心に、その撤去と回収作業が行われました。

廃棄物の不法投棄は、環境に重大な影響をおよぼすおそれがあることから、法律で禁止されている重大な犯罪です。不法投棄根絶のためにも、今後も適正処理を推進し、お客様に安心してご依頼いただけるような会社作りを目指してまいります。



● 「アグリフードEXPO2010」に出展

平成22年8月3日、4日の2日間、東京ビッグサイトで開催された「第5回アグリフード



EXPO2010」に出展しました。「国産」ブランドを担っている全国の農業経営者・食品メーカーが展示し、各業者のバイヤーとの商談、情報交換の場として開催されたもので、当社からは、食品残さをリサイクルして製造した液体肥料と液体肥料のみで栽培した農薬不使用の農産物を展示・試食を行いました。トマトの試食は評判がよく、持参したカタログや液体肥料のサンプルは全て無くなりました。初めてアグリフードEXPOに参加し、良い広報活動になりました。

● バイオマス利活用に関する研修会にて当社の取り組みを発表

平成23年3月15日に行われた島根県環境政策課様主催の「環境リサイクル連携推進研修会」の講師を、当社社長の尾崎が務めさせていただきました。今回の研修会は、県が産業廃棄物の排出抑制や再資源化を図ることを目的として、廃棄物系バイオマス利活用に関する県内での先進的取り組み事例を発表するという趣旨で行われました。当社の食品リサイクルの取り組みについて「食品バイオマスのリサイクル事業展開」として発表させていただきました。食品リサイクルについての法的な背景（食品リサイクル法）や、当社が行っている取り組みについて詳しく説明させていただきました。国が進めている「循環型社会、低炭素社会の統合的な取組の推進」の中にも『バイオマス系循環資源の有効活用』と明記してあることか

らも、今後このバイオマス利活用が更に広がっていくことが重要となります。当社では、今後は堆肥化から更に進んで養豚業者と協力し、リキッドフィード（液体飼料）の提供を行いたいと考えております。



● 新卒採用 ～安定的な雇用機会の提供のために～

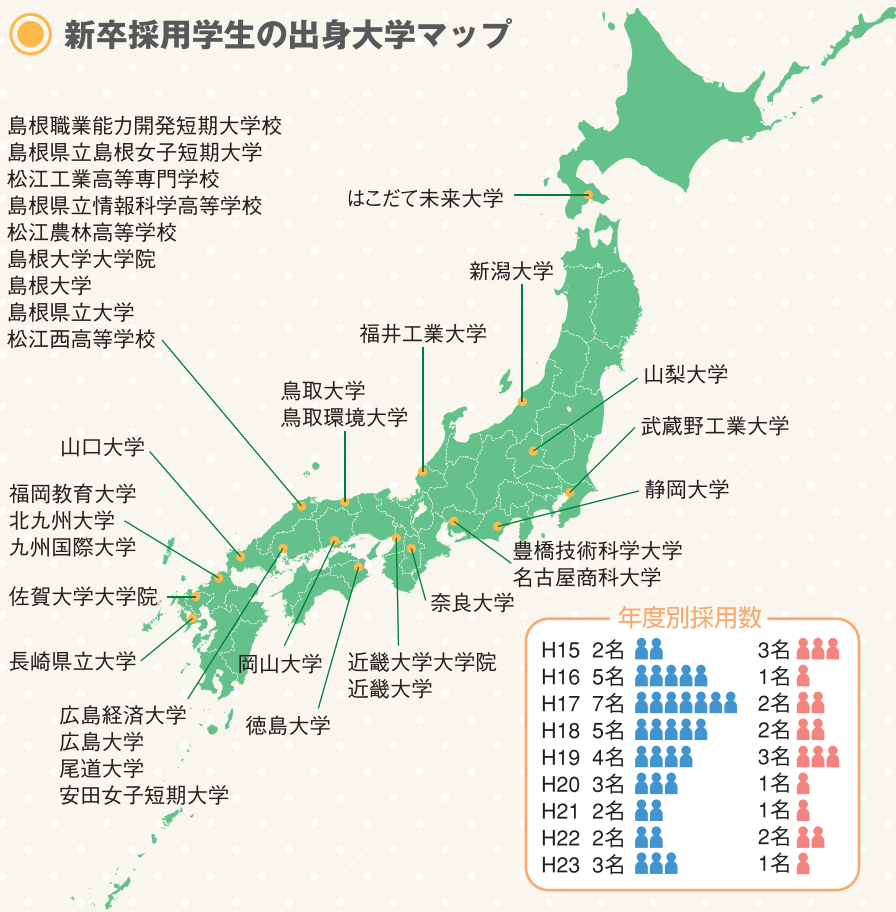
学生の内定率低下をはじめ、企業の雇用問題は大きな社会問題となっています。当社では、毎年定期的に新卒採用活動を行い、地域に貢献したいと考えている多くの学生が会社説明会に参加されます。また、障害者雇用も積極的に行い、できる限りの雇用の創出をしたいと考えています。



会社説明会の様子

● 新卒採用学生の出身大学マップ

- 島根職業能力開発短期大学校
- 島根県立島根女子短期大学
- 松江工業高等専門学校
- 島根県立情報科学高等学校
- 松江農林高等学校
- 島根大学大学院
- 島根大学
- 島根県立大学
- 松江西高等学校



- はこだて未来大学
- 新潟大学
- 福井工業大学
- 山梨大学
- 鳥取大学
- 鳥取環境大学
- 山梨大学
- 武蔵野工業大学
- 静岡大学
- 豊橋技術科学大学
- 名古屋商科大学
- 奈良大学
- 山口大学
- 福岡教育大学
- 北九州大学
- 九州国際大学
- 佐賀大学大学院
- 長崎県立大学
- 岡山大学
- 近畿大学大学院
- 近畿大学
- 徳島大学
- 広島経済大学
- 広島大学
- 尾道大学
- 安田女子短期大学

工場見学



当社への工場見学は、廃棄物の排出事業者だけでなく、一般市民の方や学生さんが来社されます。排出事業者責任として廃棄物処理状況を確認される企業の方も、自分たちが排出した廃棄物が目の前で処理される現状を見て、「大変勉強になった」と言われます。食品リサイクルプラントの竣工後は、一般団体の見学が増え、メディアの取材依頼もありました。お客様、一般市民、子供たちに食品リ

サイクルの仕組みを説明し、工場見学や収穫体験を通じ、これらの問題を身近に感じて欲しいと考え、食育にも力を注いでいます。実際に目で見て、物に触れて体感することで強く印象に残ります。その結果、参加者の今後の生活に変化が起こり、食品廃棄物の削減やリサイクルの推進につながるだけでなく、食の安全や食料自給率の向上にも発展していくことを期待しています。行政関係者の方や一度見学に来られた方の口コミなどで広がり、一般団体や学校関係の見学者が増えました。普及活動も含め、こういった取り組み全体について、各種新聞報道にも取り上げられ、同業や排出事業者からの問い合わせ・見学も増えています。廃棄物の処理というのは、普段の生活では見る機会はありませんが、環境問題と密接なかかわりを持っています。当社では、このような処理施設の見学の他、お客様向けの勉強会なども行っております。

避難訓練

ISO14001の規定に基づき、毎年災害を想定した訓練を実施しています。今年も平成22年10月4日に、避難の手順に問題がないか、また手順どおり行うことができるかのテストを行いました。見直した結果、手順に問題はなく、社員1人1人の災害対策意識向上にもなりました。



スサノオマジックスポンサー

2010年にbjリーグに加盟し、中国地方初のプロバスケットボールチームであるとともに、山陰地方では初のプロリーグに所属するプロスポーツチームである「島根スサノオマジック」を、オフィシャルスポンサーの1社として応援しています。地元企業として一生懸命盛り上げていきたいと思っています。



お客様 とのかわり



コキャストPTの活動（顧客アンケート）

「コキャスト（顧客）の要求からスタートしよう」というテーマのもと、顧客満足向上のための活動を行うプロジェクトチームが中心となり、年1回お客様満足度調査アンケートを行っています。

お客様の声をしっかり把握させていただき、より良いサービスが提供できるよう日々努力を続けていきたいと考えています。

アンケート送付数：約1700枚、返信率：29%

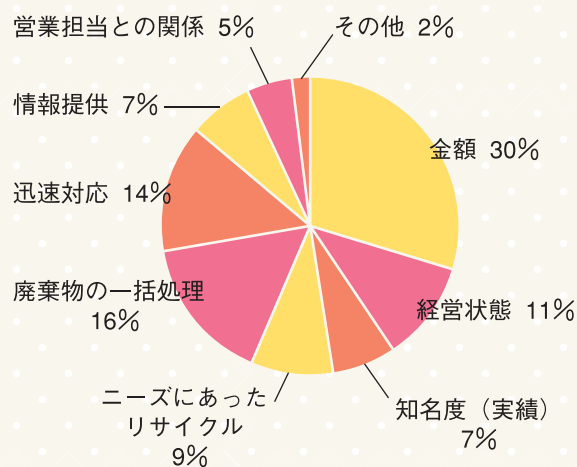
廃棄物処理業者の選定にあたって重視する項目についての質問に対し、次のような結果でした。廃棄物処理を行うにあたって、法令順守（コンプライアンス）は当然のことであるため、今回のアンケートでは法令順守以外の項目で質問をしました。

安価なサービス提供が重要視されていることはもちろんですが、様々な廃棄物を一括して処理できることや、処理のご依頼に対する速やかな対応も必要不可欠であることがわかりました。今後も法律に基づいた適正かつ迅速な廃棄物処理の提案ができるよう、努力してまいります。

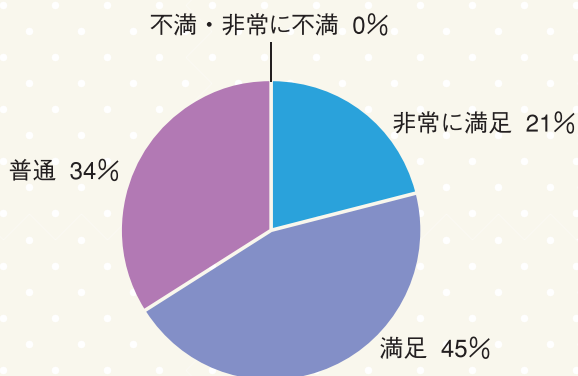
「収集ドライバーの対応」について質問をしました。

多くのお客様にご満足いただき、中には「ドライバーの〇〇さんはテキパキと作業をしてくれて、とても助かっています。」等のコメントをいただくこともあり、社員一同心から喜んでいきます。当社としてもっと作業レベルを向上させていこう、社内研修を徹底していきたいと考えています。

廃棄物処理業者の選定にあたって重視する項目について



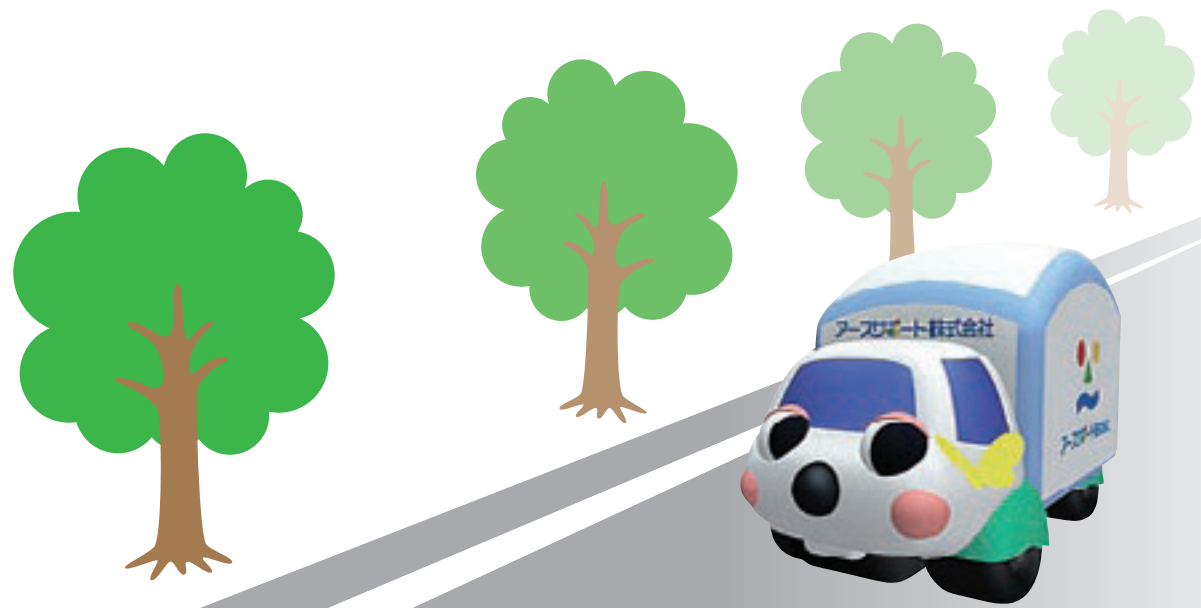
収集ドライバーの対応について



● 社外報・メルマガ発行

当社では、「アースサポートNEWS」と名づけて、お客様に社外報を発行しています。内容は、法律改正情報、当社のリサイクル、環境活動などを掲載し、3ヶ月に1回発行しています。今後ももっ

と内容を充実させ、お客様のお役に立つ情報を提供していけるよう努力します。一方、メールマガジンは、法律改正情報を中心とし、都度発信しております。



社員 とのつながり



Employee

ファミリーデー

「社員が夢を持てる会社作りPT」では、毎年1回日曜日に、社員の家族の方を会社に招待し、会社の事業説明や工場を見学していただく「家族見学会」を実施しています。社員の家族のご理解があってこそ社員は仕事をすることができるという考えのもと、社員が普段どのように働いているかを知っていただき、ご家族の方々に安心していただきたいという思いが込められています。今年も平成22年6月27日に実施し、18家族58名にご参加いただきました。毎年最後に上映する、当社の普段の雰囲気伝えるイメージビデオには、社員から家族へのコメントやビデオレターなど感



謝の気持ちを込めたメッセージを盛り込んでいます。今後も継続していくことで、社員が働きやすい会社作りを行っていきます。

事業報告会



事業報告会は、年2回全社員が一同に会し、当社の現状や今後の方向性について共通の認識をもつための会議です。

平成22年12月19日に行われた報告会では、当社の平成21年度（平成21年10月1日～22年9月30日）の事業結果の報告や各種表彰、そして平成22年度（平成22年10月1日～23年9月30日）の各部署での目標や予算関係の発表が行われました。この時期の発表会では、事前に社員に公募した「この1年間でアースサポートに新たな価値を生み出した取り組み」の中から、年間 MVP の発表が行われます。今回は、食品リサイクルループ申請チー

ムが MVP 賞となりました。株式会社ふくしま様、農業生産法人アースファーム、当社の3社で申請した食品リサイクルループ認定は中国地方で初めてとなり、液体肥料を用いた計画は全国初となりました。その他、プロジェクトチームの表彰や各部署から投票によって選出されたメンバーへの表彰等も行われ、大変盛り上がりました。



レクリエーション

社員が夢を持てる会社づくりPTが主催し、年1回の社員旅行、松江市民レガッタ大会への参加、ボウリング大会や花見などを開催しています。

今年度で6回目となった社員旅行では、平成22年9月11日～12日に大阪・神戸へ行きました。天候にも恵まれ、また事前計画どおりに旅程を進めることができ、とても良い思い出となりました。このようなレクリエーションを通じて、普段あまり接する事のない他部署との交流を図り、社員同士の絆を深めています。



社員旅行

誕生日のお祝い

社会人になると、誕生日を祝ってもらえる機会というのは少なくなったように思います。そこで、当社では社員の誕生日になると、夕礼の後にクラッカーが突然鳴り出し、ハッピーバースディの歌

と共に、社員それぞれのイメージに合わせたオリジナルの誕生日ケーキをプレゼントし、お祝いをしています。誰かにお祝いをしてもらえるというのは、大変嬉しいもので、社員一同喜んでます。



イルミネーション



当社では、毎年クリスマスシーズンになると、本社事務所外壁をイルミネーションで飾っています。年末という忙しい中、社員はもちろん、地域の方にも見ていただき、季節や雰囲気味わっていただけたらとの思いで始めたこのイルミネーションも、もう何年にもなります。毎年少しずつ電飾を買い足しており、今年は右下の暖色系のイルミネーション等を追加しました。なお、当然ながら電気消費量の少ないLEDを利用しています。

社員研修

廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）は、たびたび改正され、複雑なものとなってきています。その他、リサイクルや地球温暖化対策などの法律が次々と施行されています。当社では、廃棄物のプロとして、営業部や収集オペレーターがお客様へ情報を提供できるよう、定期的

に社内勉強会を実施しています。また、新入社員に対しては、約1ヶ月に渡って各部署の研修やロールプレイング等を実施します。講師になるのは各部署の先輩社員ですが、教えることによって講師自身の成長にもつながっています。



収集オペレーター法律テスト



新入社員ロールプレイング



法律勉強会

表彰制度

当社には様々な表彰制度があります。あらゆる報奨制度によって、社員のモチベーションアップに努めています。



お褒めの言葉表彰



社長賞受賞



A重油ランキング賞

社長賞・優秀賞・努力賞	会社の業務において大きな功績を挙げた職員への報奨
お褒めの言葉賞	お客様からお褒めいただいた職員への報奨
コストダイエット報奨	業務改善等を自主的に提案し、コスト削減を提案した職員への報奨
ネーミング賞（名称募集）	新規商品・サービスの名称を社員へ募集し、採用された職員への報奨
A重油ランキング賞	焼却炉の運転において、消費するA重油の量が少なかった上位3名の職員への報奨
安全運転ランキング賞	収集運搬車両の運転において、塵芥車、コンテナ車、アルミバン車の3車種別に、デジタコによる安全運転ランキングが1位だった職員への報奨
年間MVP・アースサポーター賞 グッドジョブ賞	1年間でアースサポートに新たな価値を生み出した取組みを行った職員またはチームへの報奨
部門賞	1年間、各部署ごとで投票により選出された功労者に送られる報奨

B to C への取り組み

B to C



● 個人邸解体工事

法人のお客様だけでなく、個人のお客様も対象とした解体事業を行っています。当社はもともと廃棄物処理・リサイクルを行っている会社ですので、解体後に発生する廃棄物も適正に処理・リサイクルすることができます。解体工事で出た廃棄物は資源です。当社では限られた資源だからこそ、廃棄物をただ単に運んで捨てるのではなく、その中から少しでも資源になるものを選別し、廃棄物を限りなくゼロに近づけます。また、当然ですが外注することなく直接当社が処理しますので、安価にもなります。

さらに、当社は建設業も営んでおり、一級建築士も在籍していますので、解体後の設計まで一貫して承ることも可能です。また、松江市を中心とする多くの市町村で一般廃棄物収集運搬業の許可を取得しておりますので、解体する前に家の中に残っている粗大ごみ等の処理の対応も可能です。



アースサポート株式会社

解体の **アースくん**
EARTH

<http://www.earth-support.jp/kaitai/>

● 粗大ゴミ収集

お引越しや片付け、遺品整理等に伴う一般家庭からの不用品、粗大ごみの収集も行っています。本来、家電等の粗大ごみの運搬には、その市町村の一般廃棄物収集運搬業の許可が必要です。当社は、松江市を中心とする多くの市町村で一般廃棄物収集運搬業の許可を取得しておりますので、適正に運搬・処理のお手伝いをさせていただきます。



アースファーム だより



Earth Farm News

販売実績

長野県
アースファーム

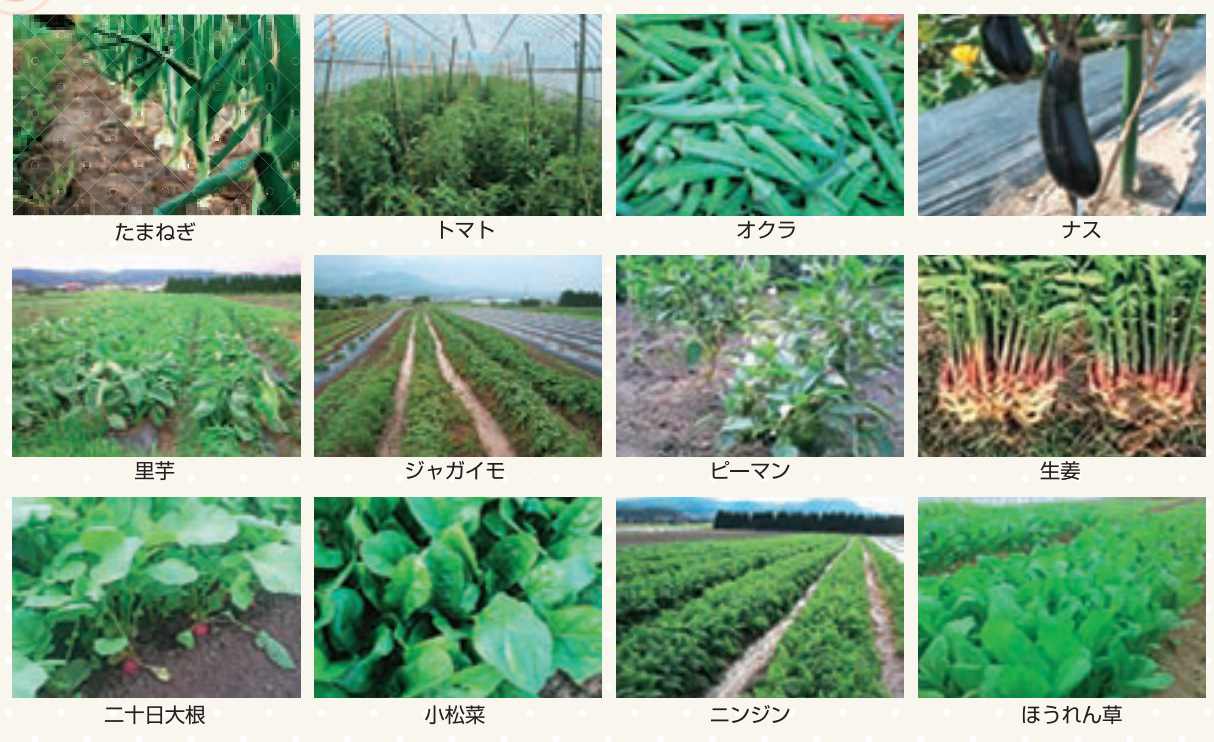
東京都
ナチュラルカレッジ/ハーモニー

神奈川県
アースファーム

和歌山県
Organic Marche

島根県
Bonita
みしまや 上の本店
母衣町店
皆美館
山代店

アースファームの野菜



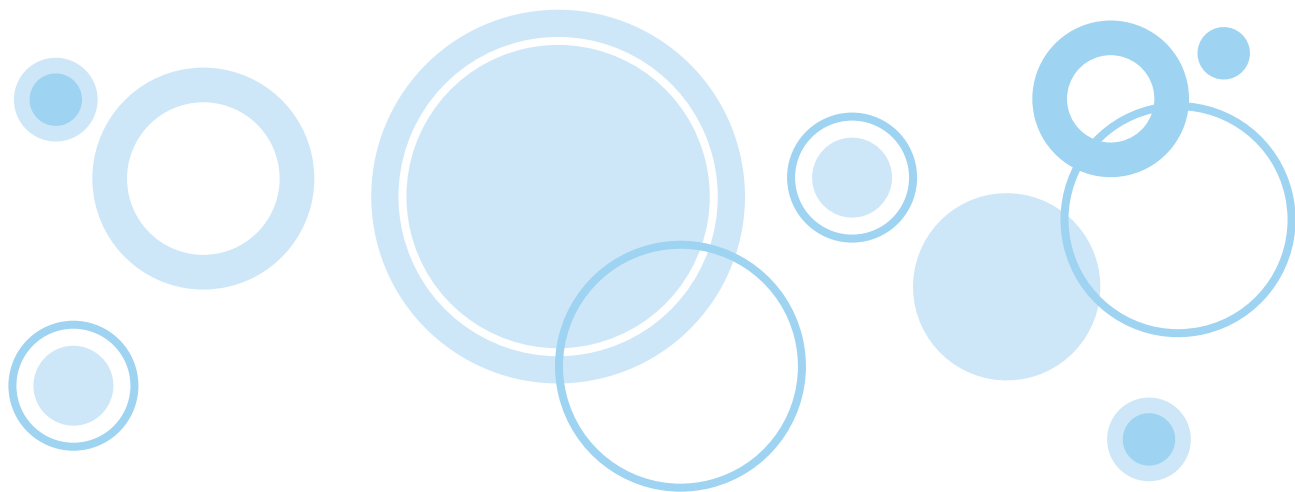
「アースサポート株式会社 CSR報告書2011」 をお読みいただきありがとうございました。

このCSR報告書は、当社の環境活動をはじめ、社会活動、社員への活動を含めたサステナビリティレポートに近い形にしております。わたしたちの活動内容を皆様にわかりやすくお伝えできるよう作成しましたが、不十分な点があると思いますので、ぜひ皆様のご意見・ご感想をお聞かせくださいますようお願いいたします。

裏面のアンケートにご回答の上、FAXにてお送りいただくか、右下のアンケートはがきの回答をご記入の上、そのまま投函くださいますようお願いいたします。



アンケートにお答えいただいた方の中から
抽選で、(有)アースファームの農場で収穫した
「季節のお野菜」をプレゼントいたします。



料
金
受
取
人
払
郵
便

松江支店
承認

297

差出有効期間
平成24年6月
30日まで

切手を貼らずに投函ください。

郵便はがき

6
9
0
-
8
7
9
0

646

島根県松江市八幡町八二番地11

アースサポート株式会社 行



**Q1 アースサポート株式会社 CSR報告書2011をご覧になって
どのように感じられましたか？**

①当社の環境・社会活動自体について

1. 非常に評価できる 2. 評価できる 3. ぶつう
4. あまり評価できない 5. 評価できない

②わかりやすさについて

1. 非常にわかりやすい 2. わかりやすい 3. ぶつう
4. ややわかりにくい 5. わかりにくい

③内容について

1. 非常に充実している 2. 充実している 3. ぶつう
4. ややもの足りない 5. もの足りない

Q2 本報告書の中で、特に興味を持たれたものはどの項目ですか？（複数可）

1. 組織体制 2. アースサポートのあゆみ 3. トップメッセージ 4. ハイライト
5. 環境とのかかわり 6. 地域とのかかわり 7. 社会とのかかわり 8. お客様とのかかわり
9. 社員とのかかわり 10. BtoCへの取り組み 11. アースファームだより

Q3 本報告書をどのような立場でご覧になりましたか？

1. 一般 2. お取引先 3. NPO・NGO 4. 学生 5. 行政関係 6. 社員・ご家族
7. 研究・教育機関 8. 当社近隣の方 9. 報道関係 10. その他

Q4 本報告書をどのようなカタチでお知りになりましたか？

1. 当社からの郵送 2. 当社ホームページ 3. アースサポートNEWS
4. メールマガジン 5. 当社従業員より 6. その他（ ）

Q5 今後のアースサポートの活動に望まれること、期待されること

Q6 本報告書に関するご意見等ございましたらご記入をお願いいたします

CSR報告書2011アンケート

Q1 ① ② ③

Q2 _____

Q3

Q4

Q5 _____

Q6 _____

お名前 _____

住 所 〒 _____

電 話 _____

E-mail _____

◀ 切り取って郵送いただくか、
このままFAXしてください。
※記入していただいた個人情報は、
本アンケート以外の目的で
使用いたしません。

編集後記

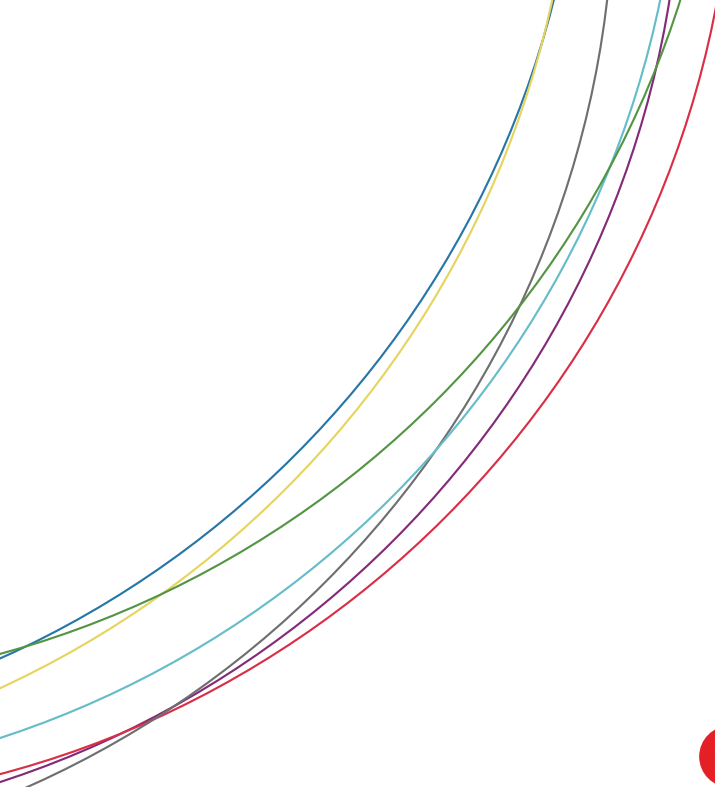
『CSR 報告書 2011』は、対象期間を平成 22 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日までとし、アースサポート株式会社の全事業について掲載しています。関係各位の皆様方にご助力いただきましたことを改めて御礼申し上げます。

私たちは、環境に対する取組みだけでなく、地域や社会、お客様、社員に対するさまざまな取組みを実施するとともに、その情報公開に努めてまいりました。地域の皆様をはじめ、一般の方にも読みやすいよう写真を多く使用し、わかりやすく読みやすい報告書の製作を心がけています。そのため、内容に不十分なところも多々ございますので、ぜひ皆様のご意見をご参考にし、今後のより良い CSR 報告書づくりに取り組んで参りたいと考えております。

編集・製作 総務・企画部経営企画係

過去の環境報告書





Earth Support Corporation.

アースサポート株式会社

〒690-0025 島根県松江市八幡町882番地2

TEL 0852-37-2890 FAX 0852-37-2892

E-mail:earth@earth-support.jp

<http://www.earth-support.jp>



ISO 14001
JQA-EM1465
本社
廃棄物・リサイクル



このCSR報告書の製造に伴って排出されるCO₂は、
植林事業によってオフセットされています。